破砕機用刃物の新工場

近畿工業　生産集約・能力増強

【神戸】近畿工業（神戸市中央区、和田知樹社長、078・351・0770）は、兵庫県三木市に破砕機向け刃物の工場を新設する。約16億円を投じ、2020年4月に稼働する。廃棄物処理やリサイクルの業者から増加する新機の製造や刃物の補修ニーズに応える。隣接する既存2工場から新造・補修用の刃物生産を新工場に集約、生産能力を高める。新工場稼働を弾みに、23年7月期の全売上高で19年7月期比15%増の60億円を目指す。

▲兵庫県三木市に建設する新工場（イメージ）

新工場は敷地面積が9400平方㍍、延べ床面積は5200平方㍍。刃物の新造用に硬度や耐摩耗性が高まるレーザー溶接設備を新たに導入し、溶接ロボットやマシニングセンターなど既存工場から移設する生産機械を合わせて約50台を設置する。機械の配置を最適化して生産の動線を短縮し夜間の無人生産も取り入れ、生産能力を現状比2倍に高める。

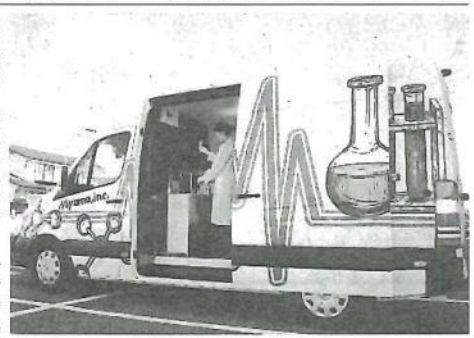
近年、同社の主力製品である2軸せん断式破砕機の刃物について、新造用は高性能化が求められる一方、補修用の受注が新造用に比べ約1・5倍に増えた。新工場では摩耗した使用済み刃物を補修し、再生産体制も強化する。また刃物の高品質化に取り組む研究所も工場に併設する。

近畿工業は2軸せん断式破砕機の製造を1985年に始め、累計2000台以上を販売してきた。破砕機用刃物を自社で開発・製造しており、高度化・多様化する廃棄物処理やリサイクルのニーズに対応するため、新工場を活用し高品質な刃物の安定供給を目指す。

緊急化学分析サービス

専用車両で現場に急行

【長野】ミヤマ（長野市、南克明社長、026・285・4166）は25日、トラブルが発生した現場に専用車両で駆けつける緊急化学分析サービスを始めたと発表した。各種分析機器を搭載した車両で専門スタッフ2人が出向き、その場で分析施設と同水準の高精度な分析を実施。環境被害を及ぼす原因物質の早期特定から対応策の提案までを担う。



▲大型商用バンを使った移動分析車には、大気や水質、定成分析計、蛍光X線計、載。気体、液体など対象物質に応じ動度分析計、グラフ分析計、か、赤外線分析計換赤外線分析計

各種機器を搭載した移動分析車

ちょっと訪問

オンデマンド

オンデマンドは、印刷やデザイン制作を手がける。同社の独自技術「ふち無し印刷」によって、印刷物全体にデザインを施すことが可能。「大量生産でき、かつスピーディーという点で、当社の技術は日本で唯一ではないか」と西ケ谷一志代表は話す。

1分間に100枚、全面印刷されたはがきを刷るこ

専門的な内容も

東京信用保証協会の経営支援は、中小企業者がさまざまな状況で直面する経営課題の解

ポートを目指している。相談窓口には専門的な内容に対応したものもある。海外展開を目指す中小企業への支援窓口「海外展開サポ

題を抱えやすい局面には事業承継期、事業再生期など多々あるが、同協会は「創業・草創期」も重要な局面の一つと捉え、支援を積極

セミナーでは、が創業保証の利証協会提供）

た。

19年4月に一歩進め、なところから支援を提供都内12カ所こ創業アン

FL

◆マッチング創出セミ
関東経済産業局　10月11日13
・有明の東京ビッグサイトでベ
ンチャーとのマッチング創出セ
く。ヘルスケアベンチャーと自
促進を目指す。大阪府豊中市と
ップ（東京都中央区）、静岡県
oTBASE（同豊島区）が連
介。インフィック（静岡市駿河
ターメイト（東京都港区）、ン
クション機構（群馬県高崎市）
（東京都中央区）、アルケア
が発表を行う。対象は自治体関
員は150人。事前登録で入場無
わせは地域経済部次世代・情報
8・600・0342）へ。

◆実証支援のテーマ募集
大阪商工会議所　革新的な技
サービスの実証実験を支援する
集を始めた。対象はIoT（モ
ーネット）、ロボットテクノロジ
ティー（移動技術）、飛行ロボッ
ン）、人工知能（AI）、ヘルスケ
ン（公開）データ、ビッグデー
所は万博記念公園（大阪府吹田
限は2020年3月31日。問い合わ
産業・技術振興担当（06・6944

◆シニア雇用フォーラム
岡山県生涯現役促進協議会
時半からピュアリティまきび
区）でシニアの雇用をテーマに
用推進フォーラム」を開く。NP
スボールスピリッツ（兵庫県宝
幸治理事長が「職場で応用する
のベテラン起用法」と題し講演
の雇用に取り組む岡山県内の製
など3社が事例紹介する。定員
加無料。問い合わせは高齢・障
雇用支援機構岡山支部（086・24

◆渋谷でDXトークセッ
広島県企業立地推進協議会
時からベルサール渋谷ファー